輸入穀類等検疫要綱(昭和46年2月6日45農政第2628号農政局長通達)新旧対照表

改正後							現行					
別表(第12関係) 1 [略] 2 燐化アルミニウムによる消毒方法の基準 (1) [略] (2)サイロくん蒸 (燐化水素としての薬量の単位:ダラム/内容積1立方メートル)						別表(第12関係) 1 [略] 2 燐化アルミニウムによる消毒方法の基準 (1) [略] (2)サイロくん蒸 (燐化水素としての薬量の単位: グラム/内容積1立方メートル						
	サイロ の等 級	薬量	温度	くん蒸時間	摘要	検疫有害 動物の 種類	サイロ の等 級	薬量	温度	くん蒸時間	摘要	
〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	(1) 〔略〕 (2) 投薬方法は、次のいずれかの方法による。 ア 自動投入機により錠剤もしくは粒剤を均等に混入させ、又は人手により投薬する場合は穀層の厚さ50センチメートル若しくはた剤下ごとに錠剤若しくは粒剤を均等に混入させること。 いずれの場合も穀層上部空間に対し、1立方メートル当たり0.5グラムを穀層表面に均等に配置させること。 イ 庫外投薬機により投薬すること。	[略]	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	(1) 〔略〕 (2) 投薬方法は、錠剤又は粒剤 を自動投入機により均等に混 入させること。人手等により 投薬する場合は穀層の厚さ50 センチメートル又はそれ以下 ごとに錠剤又は粒剤を均等に 混入させること。いずれの場合 も穀層上部空間に対し、1 立 方メートル当たり0.5 グラム を穀層表面に均等に配置させ ること。	
(3)~(4) 〔略〕 3~7 〔略〕								略〕				